

消費者相談窓口から～平成17年度の相談事例から～

昨年5月マスコミ報道された富士見市の高齢者に対する助成リフォーム工事事件から当相談室にも同様の相談が多く寄せられました。

「配水管の点検です」「無料でシロアリ点検します」「〇〇円で耐震診断します」などと言って家に入り込み高額な工事契約をさせられたが、本当に必要か不安になった、解約は可能かという相談です。

悪質業者は点検と称して家に上がりこみ「すぐに工事をしないと家が傾く」などと不安をあおったり「今ならキャンペーント」と契約を急がせ、消費者に考える時間を与えません。

また、一度契約すると悪質業者の「カモ」にされ、次々と契約させられたという相談もあります。

高齢者を狙う悪質業者が後を絶たない現状では、家族や身近な人の見守りが必要です。注意してもらいたいポイントは、①見慣れない業者が出入りしている。

②お金に困っている様だ。

③請求書、領収書、納品書などが多くある。

④使っていない商品がたくさんある。

といった点です。当てはまるようでしたら、要注意です。

高齢者だけでなく、年齢を問わない相談として携帯電話やパソコン利用による消費者トラブルもあります。いわゆるワンクリック詐欺がその代表的なものです。携帯電話でネットサーフィン中に偶然アダルトサイトを見つけ、無料と表示があつたので興味本位で項目をクリックした途端に登録となり料金表示された。払わないといけないかといった内容です。この場合自分の意思で登録したのではないので、契約は不成立と考えられ支払う必要はありません。

では「契約」とはどういう事でしょうか。一言で契約は法律上の約束のことです。約束ですから守らなければなりません。原則としてお互いの意思の合致があれば契約は成立します。ワンクリック詐欺はお互いの意思の合致がないので不成立といえるのです。

契約は申込みと承諾の意思の合致があれば口頭でも成立します。契約すると義務と権利が発生します。私たちは毎日気がつかない内に多くの契約をしています。契約をするときはよく考え、後悔しないようにしたいものです。

相談日 毎週月・木曜日(祝日を除く)

相談時間 午前10時～正午、午後1時～午後4時

場所 市役所第3庁舎2階

電話 551-1511(内)326

自然とともに生きるクイズ

別名「春鳴鳥」ともいわれ、
ホーホケキョの鳴き声で誰もが
知っている、ウグイスのクイズです。



ウグイス：今後に備え、オス16cmメス13cm位、ケープの中を飛翔したりながら、巣床などを食べたり「巣にウグイス」とよく言われるが、巣にしている巣はメジロのことが多い。

問題 春になると、ホーホケキョ。しかし秋や冬など他の季節に鳴いているのを聞いた事があります。なぜでしょう？

1. ホーホケキョと鳴くのは春・夏だけ。他の季節は別の鳴き方をする。
2. 春・夏はホーホケキョと鳴くけど、後は鳴くのを全くやめてしまう。
3. 渡り鳥なので春・夏が終わるとどこかへ行ってしまう。

答え 1番

鳥の鳴き声には、
1. 繁張りを主張するためと、メスへの求愛のための「春鳴」
2. 仲間同士の連絡のための「地鳴き」
3. 緊急の時に出す「警戒声」
などが知られています。

ひとくちナモ

「地鳴き」「警戒声」は平素の生活に必要な物ですから、一年中出しています。ウグイスの「地鳴き」はチャッチャッという声で、音楽にいることが多いので特に「地鳴き」と呼ぶ事があります。

また、子育ての時期に発せられる警戒声は「ケッキョ、ケッキョ、ケキョ、ケキョ、…」と長く続ける大きな声で「ウグイスの谷渡り」と呼ばれています。


「ホーホケキョ」は、ウグイスの「鳴り」です。メスを獲得し、繁殖を確保して子孫を育てるために必要な鳴りです。この鳴りは近隣の同じ種類に対して発せられており、大繁殖してできた繁殖の主として近隣にその存在を知らせることで、ずっと鳴り続ける（鳴り続けると子育ての時間などなくなってしまう）のを避けているのです。

この鳴りは子孫を育てる時期に発せられる声なので日本では、春・夏にホーホケキョと聞こえる訳です。いずれにしてもウグイスの鳴き声は、人に驚かせるために出していているではなく、近隣のウグイスに対して発せられているのです。このホーホケキョはオスだけのもの。メスは出しません。

男女共同参画社会の形成とは…

男女が自らの意思で社会に参画する機会があり、均等に政治的、経済的、社会的利益等を受けることが出来、かつ共に責任を担うべき社会を形成することをいいます。

問合せ 協働推進課 551-1511(内)341～3へ

R100
女性参画率30%実現を
目指しています

PRINTED WITH
SOY INK

本誌「あなたのとわたし」は、市民がつくる市民のための男女共同参画情報誌です。多くの市民の方々とつくりあけていきたいと思っています。ご感想をおひいき、今後特集で取り上げてほしいテーマなど、ご意見・ご要望のある方は福井市生活環境部協働推進課までお寄せください。

市岡 駿馬 市川 由美 寺崎 敏枝 藤内多美子 岩田 文明
企画編集
NPO法人 NAFA子育て環境支援センター